



連携事業

市制施行 50 周年を盛り上げ、市民の皆様との一体感を醸成するとともに、市内外へ広く情報発信を行うため、市民団体等が自主的に実施する事業で、記念事業として相応しい事業に、記念事業の名称やシンボルフレーズ、シンボルマーク等を使用することを承認し、併せて、のぼり旗の貸与や市ホームページによる事業の広報といった支援を行いました。

様々な取り組みが市内各所で行われ、ふるさといわきへの愛情や更なる 50 年に向けた魅力あふれるまちづくりの契機となることを感じさせるものとなりました。

＜承認事業一覧＞（61 事業/承認順で掲載。主催者からの事業報告に基づき作成）

平成 28 年度夏巡業・大相撲 いわき「絆」場所

- 主催 大相撲いわき「絆」場所実行委員会
- 開催日 平成 28 年 8 月 9 日
- 会場 いわき市立総合体育館
- 参加人数 2,018 人
- 事業内容
市制施行 50 周年を記念しいわき市民と双葉地区の方々との交流と出会いを目的に、国技である大相撲の巡業を開催したものの。
・開場～公開稽古
・力士握手会
・力士とちびっこの稽古相撲
・お好み（初切、相撲甚句、太鼓打分け 他）
・幕下取組
・十両土俵入り、取組
・幕内、横綱土俵入り、記念セレモニー
・幕内取組
・弓取式
・打ち出し
- 事業成果
横綱白鵬と日馬富士の取り組みや地元ちびっこの稽古相撲が披露され、来場された方々に楽しんでいただくことができました。



日本舞踊岩見流先代家元追悼発表会及び 青少年健全育成事業 DRUM TAO いわき公演

- 主催 日本舞踊岩見流藤和会
- 開催日 平成 28 年 6 月 5 日～6 日
- 会場 いわき芸術文化交流館 大ホール
- 参加人数 出演者約 200 人、観覧者約 3,500 人
- 事業内容
日本古来の伝統文化である日本舞踊の継承発展のための先代家元追悼発表会に併せて、青少年健全育成事業の一環として、いわき市の次代を担う小学生を招待し世界的に有名な DRUM TAO の公演を開催したものの。
5 日： 追悼発表会、DRUM TAO 公演
6 日： 市内小学生を招待しての DRUM TAO 公演
- 事業成果
伝統文化である日本舞踊の継承発展につながる成果が得られた公演となりました。
また、市内小学生約 1,600 人を招待して世界的に有名な DRUM TAO の生の演技を鑑賞させることができ、健全育成事業として勇気と希望を与えられたことができたと感じます。



第 15 回オールクレハスポーツ フェスティバル

- 主催 株式会社クレハ生産本部いわき事業所
- 開催日 平成 28 年 9 月 25 日
- 会場 クレハ総合グラウンド
- 参加人数 約 2,200 人
- 事業内容
地域の方々との親睦、交流を深めることを目的に、勿来地区の住民、小・中学校生徒の皆さんを招待し、グループの従業員によるスポーツの催事を開催したものの。
プログラムに沿って、運動競技（個人、団体、小・中学生による学校対抗リレー等）を行うほか、景品が当たる抽選会や特別ゲストを招いたイベントを実施。なお、バザーや露店の収益金は近隣の福祉団体に寄付する予定。
- 事業成果
地域住民及び勿来地区小・中学校、福祉施設の皆様に多数ご参加いただき、運動競技を行いました。豪華景品が当たる抽選会や特別ゲストによるパフォーマンスでさらに盛り上がりました。また、労働組合によるバサーや露店の収益金は近隣の福祉団体に寄付します。



第17回協会長杯いわきサッカーリーグカップ

■主催 NPO 法人いわきサッカー協会
■開催日 平成28年5月24日～9月4日
■会場 いわきグリーンフィールド多目的広場
 新舞子フットボール場、遠野高校
■参加人数 19チーム 432名
■事業内容
 いわきサッカーリーグ加盟チームのサッカー競技力向上と加盟チーム相互の親睦・発展を目的に、いわきサッカーリーグ全てのチームが参加できる大会を実施するもの。また、サッカーを通じてルールを守る習慣を身につけ、青少年の模範となるべき行動がとれる社会人の資質向上を目指す。
■事業成果
 いわきサッカーリーグ全てのチームが参加できる大会としてトーナメント戦を実施しました。いわきサッカーリーグ加盟チームのサッカー競技力の向上に役立つことができ、普段対戦することのないチーム同士の親睦も図れ、青少年の模範となるべき行動がとれる社会人の資質向上にも役立つことができました。



第13回NISSANいわきジュニアカップ

■主催 NPO 法人いわきサッカー協会
■開催日 平成28年7月2日～3日
■会場 いわきグリーンフィールド多目的広場
■参加人数 24チーム 294名
■事業内容
 いわき市内の小学校4年生以下のサッカー少年・少女達へ大会に参加する機会を提供し、各選手のサッカー技術の習得・向上や、競技を通じた心身の健全育成、少年団相互の交流、親睦を図り、もって大きな夢の実現の一助とするもの。
 4年生以下の選手で構成されたチームで、予選リーグ、決勝トーナメントを実施。
■事業成果
 4年生以下の選手で構成されたチームを対象を行うことで、いわき市内のサッカー少年・少女達へ大会に参加する機会を提供することができたと思えます。競技への参加により、各選手のサッカー技術の修得・向上ができ、また競技を通じて心身の健全育成を目指すとともに少年団相互の交流、親睦を図ることができました。



第21回福島民友杯いわき市中学生(U-14)サッカー大会

■主催 NPO 法人いわきサッカー協会
■開催日 平成29年1月14～15、21～22日
■会場 いわきグリーンフィールド多目的広場
 新舞子フットボール場、新舞子多目的広場
■参加人数 400人
■事業内容
 市内の中学生年代のプレーヤーに試合をする機会を与え、フェアプレー精神及びリスペクト精神を養い、サッカー技術力向上と健全な青少年育成に寄与することを目的とするもの。
 (財)日本サッカー協会第3種に加盟登録した22チームによるトーナメント戦を実施。
■事業成果
 市内の中学生年代のプレーヤーに試合をする機会を提供することができ、フェアプレー精神及びリスペクト精神を養い、サッカー技術力向上と心身の健全育成を促すことができました。



第23回東日本女子サッカー大会

■主催 NPO 法人いわきサッカー協会
■開催日 平成29年2月4日～5日
■会場 いわきグリーンフィールド、グリーンフィールド多目的広場
■参加人数 290人
■事業内容
 広く世界に親しまれるサッカーを生涯スポーツとして女子層への発展普及と技術向上を図るもの。
 関東・東北地区から招待した女子チームで、U-15の部は総当たりのリーグ戦、U-12の部はリーグ戦、順位トーナメント戦を実施。
■事業成果
 小・中学生女子層へのサッカーの普及と技術向上を図ることができ、また、競技を通じて心身の健全育成を促すことができました。



第4回いわきフットボールカンファレンス

■主催 NPO 法人いわきサッカー協会
■開催日 平成29年3月12日
■会場 いわき市文化センター大ホール
■参加人数 約200人
■事業内容
 いわきのサッカー発展のため、選手育成環境の整備によりジュニアからユース年代の育成の柱として、協会関係者、各種別の指導者、審判員、保護者、サポーターなど、すべてのサッカーファミリーが一堂に会して共通の理解を深め、よりよいサッカー環境の向上を目指すことを目的とするもの。
 協会の事業報告、講演、NPO 法人いわきサッカー協会表彰を実施。
■事業成果
 いわきのサッカーの現状の共有や、サッカー環境の向上を目指すきっかけづくりに繋がったほか、優秀選手の表彰を行うことを通じて、その成果を労うとともに、後身に希望を与えることができました。



第42回いわき地区高校親善サッカー大会

■主催 NPO 法人いわきサッカー協会
■開催日 平成29年3月18日～20日
■会場 いわきグリーンフィールド外、市内高等学校グラウンド等
■参加人数 980人
■事業内容
 各地域からの招待チーム同士が交流しあい、親睦を深め、サッカーの技術向上とフェアプレー精神の高揚を図るとともに、青少年の健全育成に寄与することを目的とするもの。
 市内11チームのほか、市外33チームの参加による親善を目的とした試合を実施。
■事業成果
 首都圏など各地域からの招待チーム同士が交流し、親睦を深めながら、サッカーの技術向上とフェアプレー精神の高揚を図ることができました。また、今回は女子チームにも多数ご参加いただき、女子選手のレベルアップにも繋がりました。



第 8 回いわきシニアサッカー フェスティバル

- 主催 NPO 法人いわきサッカー協会
- 開催日 平成 29 年 3 月 26 日
- 会場 いわきグリーンフィールド、
新舞子フットボール場
- 参加人数 231 人
- 事業内容
40 歳以上のシニア層に試合をする機会を提供し、シニア世代の相互交流と生涯スポーツとして長く健康を保てる一助とするもの。
市内外から年代別に参加チームを募り、リーグ戦及びトーナメント戦を実施。
- 事業成果
シニア層に試合をする機会を設けることを通じ、シニア年代の相互交流や健康保持の一助とすることができました。



親子対抗いわきウルトラクイズ 選手権大会

- 主催 公益社団法人いわき法人会
- 開催日 平成 28 年 11 月 12 日
- 会場 小名浜アクアマリンパーク
- 参加人数 約 600 名
- 事業内容
いわきの地理・歴史・文化・風土を、子ども達をはじめ市民の方々に再認識していただくとともに、税金の仕組みや大切さを知ってもらうため、親子ペアによるクイズ大会や物産展などを開催するもの。
また、ブースを設け、いわきの特産物・物産品の展示・販売を実施。
- 事業成果
市制施行 50 周年を機に親子で郷土について考え興味を持っていただく事業とし、いわき市に関する問題や税金についての知識普及を目的とした問題を出題しました。その結果、親子で問題を考えることで信頼が生まれ、またいわき市についてたくさん興味を持って頂くことができました。さらに、これからのいわき市について親子で語り合い、郷土愛の醸成につなげることもできました。また、会場内で税金について知るコーナーを設置し、税知識の普及活動も行い、税の大切さを体験していただくこともできました。



第 9 弾「IWAKI アロハ」の作成・販売

- 主催 一般社団法人いわき観光まちづくり
ビューロー
- 開催日 平成 28 年 5 月以降
- 会場 ー
- 参加人数 ー
- 事業内容
いわき市オリジナルの「IWAKI アロハ」を作成し、多くの人々に着用してもらい、全国へ元気ないわき市を PR するもの。
今年度作成する「IWAKI アロハ」のピスネームに「50th シンボルマーク」を使用。



ミュージカル「フラボーイ」 ～いわき男子高校演劇部奮闘記～

- 主催 株式会社 S T C
- 開催日 平成 28 年 8 月 25 日～26 日
- 会場 いわき芸術文化交流館 大ホール
- 参加人数 約 700 人
- 事業内容
いわきの若者が出演するミュージカルを公演し、いわきを盛り上げ復興に助力するとともに、若者の夢を育み応援するもの。
震災直後のいわきを舞台に、愛する者を失った少年達が悲しみや苦難を互いの力を合わせて乗り越え成長していく姿を描いた内容。
- 事業成果
いわきを盛り上げるため、キャストが 2 箇月以上の厳しい稽古を行い、いわきのフラダンスチームや地元の子供達などを含めた総勢 70 名程度の出演者が協力し合い公演を行いました。
結果的に、全てのステージで満員御礼となり、次年度も再演が決定しました。今後もいわきの感動を届けていきます。



月刊りい〜ど掲載記事への使用 (JR 各駅停車 甦る風景、近代化遺産が語る歲月)

- 主催 株式会社いわきジャーナル
- 開催日 月刊りい〜ど 4～12 月号
- 会場 市内を中心に、近隣市町村、東京など
- 参加人数 発行部数 10,000 部/月
- 事業内容
「JR 各駅停車 甦る風景」
地区ごとの特色、合併への経緯など、市への理解を深めることを目的に市内各地区の地理や歴史、近代化遺産の紹介を行うもの。
「近代化遺産が語る歲月」
小宅幸一氏執筆により、近代化遺産の紹介とその継承の意義と問題点を探る記事を掲載するもの。
- 事業成果
「JR 各駅停車 甦る風景」(本誌編集部)
JR 常磐線・磐越東線の各駅と併せ、市内 13 地区の地理・歴史を紹介しました。いわきの石炭産業と鉄道が果たした役割、その変遷などを市民に分かりやすく伝えられたと思います。
「近代化遺産が語る歲月」
市内の近代文化遺産の紹介、そこから読み取れる歴史、保存活動を通じた継承など、いわきの近代化遺産の重要性を訴えました。



睦真子バレエ研究所 創立 60 周年記念特別公演

- 主催 睦真子バレエ研究所
- 開催日 平成 28 年 9 月 22 日
- 会場 いわき芸術文化交流館大ホール
- 参加人数 約 800 人
- 事業内容
3 歳児から大人まで幅広い年代の生徒達が出演のもと、60 年の活動の中からの懐かしい作品の披露ほか、特別ゲストによる作品披露、眠れる森の美女の披露など、3 部構成による上演を行い、市民の方々の芸術文化の交流を図るもの。
第 1 部：オープニング・小作品
第 2 部：スペシャルプログラム
第 3 部：眠れる森の美女 (第 3 幕)
- 事業成果
第一部では真子氏の懐かしい作品から現代のコンテンポラリー作品のほか、祝舞として真子氏と睦まなみ氏による黒田節、第二部はゲストダンサーによる作品でフルート奏者市島徹氏とのコラボレーション作品、第三部では「眠れる森の美女よりオーロラ姫の結婚」を総勢 44 名にて荘厳華やかに上演し、客席からの大きな拍手の中、大盛況にて終演することができました。



繋げよう海の駅

- 主催 いわき海洋利用者協議会
- 開催日 平成28年5月15日
- 会場 いわき・ら・ら・ミュウ 2階研修室
- 参加人数 約300人
- 事業内容
 いわきの海業の復興と更なる50年に向けた観光・交流人口拡大の一助とするべく、いわきの海洋レクリエーションの拠点施設である「いわきサンマリーナ」再開に向けた意見交換や、マリーナに縁の深い元読売テレビニュースキャスターの辛坊治郎氏を招いての講演会を開催したものの。
- 事業成果
 来賓の方をお招きし、説明や報告、いわきの海についての思いを語っていただくことができ、いわきの海業の復興に繋がる取り組みが実施できました。
- ・旧いわきサンマリーナの必要性について
 (旧)小名浜マリーナ(株)柄沢氏)
- ・いわき海上交通の安全について
 (福島海上保安部 交通課長 宝達氏)
- ・常磐沖の水質調査報告
 (福島県水産試験場 環境部長 根本氏)
- ・いわきの海についての思い
 (ニュースキャスター 辛坊氏)
- ・海の駅の在り方及び重要性について
 (日本海洋レジャー安全・振興協会会長 戸田氏)



海の日芸術祭

- 主催 海の日芸術祭実行委員会
- 開催日 平成28年7月13日～18日
- 会場 小名浜オーシャンホテル&ゴルフクラブ
- 参加人数 約2,000人
- 事業内容
 海への感謝と東日本大震災で亡くなった方々への鎮魂も含めた芸術祭を開催し、国内外の文化交流と地域の新しい芸術文化の活動、発信を行うもの。
- 絵画、野外彫刻、パフォーマンス、音楽等の芸術文化活動を実施。
- 事業成果
 多くの人々に芸術の楽しさを見ていただき、オープニングパーティーではフラガール好間高校の方に踊っていただき、楽しい展覧会になりました。
- ニューヨークから10名、上海から2名の画家にも参加していただき、国際的な展覧会となりました。



赤いばらフェスタ 第8回 ローズガーデンコンサート

- 主催 赤いばらフェスタ実行委員会
- 開催日 平成28年5月21日～22日
- 会場 パラとお花の小さな森
 (いわき市平赤井字大平142)
- 参加人数 約350人
- 事業内容
 パラの花咲く緑の広場で、クラシックから演歌まで多彩なゲストを迎え野外コンサートを開催するもの。花と音楽により市民の方々に心休まるひと時を提供し、赤井地区外からの参加者と交流の輪を広げ、心通う豊かな町づくり・文化の向上と赤井地区の振興・活性化を図る。
- 5月21日：菊池章夫ハートフルコンサート 等
- 5月22日：原順子&叶央介コンサート 等
- ※2日間とも会場産品直売を実施。

いわきビッグバンドジャズフェス2016

- 主催 いわきビッグバンドジャズフェス実行委員会
- 開催日 平成28年6月19日
- 会場 いわき産業創造館(ラトプ6階)
- 参加人数 主宰者側80人、来場者約600人
- 事業内容
 市内で活動する4つの社会人バンドが一堂に会し、いわき市民やいわき在住の避難者を対象に、ビッグバンドジャズを演奏し、いわきの住民が元気に暮らし、文化活動も積極的にしていることや復興への意気込みを音楽で発信するもの。
- 事業成果
 本年は各バンドが1時間ずつ日ごろの練習の成果を披露しました。会場は立ち見ができるほどの盛況で、主宰者側も驚くほど多くの方々にご来場いただきました。
- 市制施行50周年記念事業に相応しく、会場内は終始熱気につつまれ、中高年層を中心に幅広い年齢層の方々に我々のビッグバンドサウンドを楽しんでいただくことができました。



田んぼアート

- 主催 非営利活動法人ミッション
- 開催日 平成28年4月10日～11月4日
- 会場 いわき市山田町明地55番地
- 参加人数 90人
- 事業内容
 田んぼアートに多くの市民が参加することによる地域住民の交流及び地域美化運動を図り、また、東日本大震災による農業離れを受け、田んぼアートによる耕作放棄地の削減を図るもの。
- 高校生や多くの市民に参加してもらい、耕作放棄地に市制50周年記念シンボルマークを参考にした図柄を稲を植え付け、田んぼアートを作成。
- 事業成果
 50周年記念シンボルマークをベースとした図柄を、磐城農業高等学校の生徒と共に測量した田(耕作放棄地約600坪)に、多くの市民の皆様に参加してもらい、磐城農業高等学校で育苗した稲を植え付けました。
- 稲の成長の変化を多くの市民と鑑賞して、最後にアート米の収穫をすることができました。



港湾(交付(再復))工事

- 主催 福島県小名浜港湾建設事務所
- 開催日 平成28年4月18日～平成29年2月28日
- 会場 いわき市小名浜字辰巳町地内
- 参加人数 ー
- 事業内容
 建設事業のイメージアップを図るとともに、市制施行50周年の節目を盛り上げるため、工事現場に市制施行50周年のシンボルマークを使用した横断幕を掲示するもの。
- 事業成果
 実施場所は、市内有数の観光地である「小名浜港アクアマリンパーク」であったことから、年間を通して開催されるイベント時を中心に、多くの来客者に情報発信することができました。また、市制施行50周年の節目を盛り上げ、小名浜港及び港背後地復興への機運の醸成に寄与することができ、本事業の主旨に沿った成果が得られました。



第21回 いわきふれあいウォーキング大会

■主催 いわき市健康歩く会
 ■開催日 平成28年6月12日
 ■会場 平小太郎町公園～江名～豊間～夏井
 ■参加人数 133名
 ■事業内容
 ウォーキングを通して市民同士の交流を図り、万病を防ぎ健康を目指すもの。また、自然に親しみ、自然を守る豊かな心を養う。
 市内を巡る23kmと13kmの2コースを設け、広く参加者を募りウォーキングを実施。
 ■事業成果
 いわき市制施行50周年を記念するとともに、震災復興を祈念し、「あるいて、いわきを元気に」を掲げ、いわき市民の健康づくりと、ウォーキングを通して自然に親しみ、自然を守る豊かな心を養うことを目的に実行しました。
 一般市民の方々に「歩く喜び」を知っていただき、また県外の方そして他協会の方々に、いわきの歴史などにも触れていただきました。



明治大学マンドリン倶楽部いわき演奏会

■主催 明治大学校友会いわき地域支部
 ■開催日 平成28年8月25日
 ■会場 いわき芸術文化交流館 大ホール
 ■参加人数 約1,100人
 ■事業内容
 明治大学マンドリン倶楽部のマンドリンの調べの魅力を感じてもらい、癒しと活力の一助となることを目指すもの。
 マンドリンによるクラシック・歌謡曲・世界の名曲などを演奏。
 ■事業成果
 いわきの皆さんに、若い学生達の演奏によりマンドリンの音の広がり、強さ、そして豊かさをお伝えし、楽しい夏の一夜を過ごしていただくことができました。



プロ野球イースタン・リーグ公式戦 2016「巨人 VS 日本ハム」

■主催 2016 いわき市プロ野球開催支援委員会
 ■開催日 平成28年6月25日
 ■会場 いわきグリーンスタジアム
 ■参加人数 当日入場者数 2,315人
 ■事業内容
 本市の魅力や明るく元気な姿を発信し、次世代を担う子ども達に将来の夢や希望を与えることを目的とし、プロ野球イースタン・リーグ公式戦 2016「巨人 VS 日本ハム」の開催を支援するもの。市内小中学生に無料チケットの配布も実施。
 ■事業成果
 プロ野球選手のレベルの高い試合を観戦することにより、次世代を担う子ども達に将来の夢や希望を持ってもらえるなど、本市のスポーツ振興に寄与したものと考えます。また、試合前は雨などの影響もあり、入場者が激減するのではないかと考えましたが、2,000人を超える入場者に観戦していただき、その成果はあったものと考えております。



平成28年度 第30回いわき市民ふれあい号(バスの旅)

■主催 新常磐交通株式会社
 ■開催日 平成28年10月25日～27日
 ■会場 秋田県由利本荘市、新潟県村上市 瀬波温泉
 ■参加人数 72人(バス3台)
 ■事業内容
 いわき市と由利本荘市との親子都市締結30周年の節目であり、市民ふれあい号(バス旅行)を通じて両市の歴史を知り、交流を深めることを目的とするもの。
 由利本荘市と日本海夕映えの宿瀬波温泉を巡るバス旅行を催行。
 ■事業成果
 今年で第30回を数える「いわきふれあい号」ですが、親子都市締結30周年を記念し岩城町(現由利本荘市)を訪問しました。
 現地では、由利本荘市の小野副市長、由利本荘市の佐々木総合支所長にも御臨席いただき、いわき市民72名参加のもと、今後更なる多方面での関係構築を図るため交換交流会を盛大に実施することができました。
 また、ここに至るまでの歴史を知り、見地を深め、お互いの理解を得ることができました。



いわき市市制施行50周年特集 提言特集「復興から未来へ～いわきの魅力発信」新聞企画

■主催 福島民友新聞社 いわき支社
 ■開催日 平成28年6月7日、7月5日、8月2日、10月1日
 ■会場 —
 ■参加人数 —
 ■事業内容
 いわき市市制施行50周年を県民に広く周知することを目的として紙面特集を行うもの。
 6, 7, 8月: 「復興から未来へ～いわきの魅力発信」をテーマにした、いわき市の若い世代の提言特集
 10月: いわき市長あいさつや50年の歩みを紹介



シンボルマークを用いたトートバックの製造・販売

■主催 株式会社福島インフォメーションリサーチ & マネジメント
 ■開催日 平成28年6月1日～29年3月31日
 ■会場 市内5店舗
 ■参加人数 —
 ■事業内容
 市内外の方々に、いわき市への愛着を持ってもらえるよう50周年シンボルマークを印刷したトートバックを製作し、市内店舗で販売するもの。
 ■事業成果
 シンボルマークを使用したトートバック(大)を100個、トートバック(小)を300個製造し、期間中に市内5箇所の委託販売店及び市内外のイベント等で販売しました。
 トートバック(小)は、製造個数全てを販売することができました。



海フェス 2016 in IWAMA Beach

(海と親しみ生命を守る水難事故防止のためのライフセービング体験プログラム)

- 主催 いわきライフセービング実行委員会
- 開催日 平成 28 年 7 月 9 日～10 日
- 会場 岩間海岸
- 参加人数 約 300 人
- 事業内容
岩間海岸でのライフセービング体験プログラムを通して、水難事故防止や防災教育について学ぶことを目的としたもの。
7/9 前夜祭(模擬店)
7/10 ライフセービング体験、ビーチフラッグ、ビーチスプリント、ニッパーボート、サーフィン&SUP体験など
- 事業成果
前夜祭では日本体育大学、芝浦工業大学、筑波大学及び東日本国際大学の4大学対抗料理による交流会を岩間・小浜地区の住民を対象に開催しました。体験プログラムでは、避難訓練やビーチクリーンの後、ライフセービング体験に加え、関係団体の協力によりサーフィンなどのマリンスポーツのメニューを提供することができました。
当日は天候に恵まれ、多くの来場者もあり、事業の目的も達成できました。また、これまで関わりのなかった団体との新たな関係も築くことができるなど、副次的な効果も得られました。



未来へつなぐ光プロジェクト・サウンドイルミネーション

- 主催 特定非営利活動法人
いわきイルミネーションプロジェクトチーム
- 開催日 平成 28 年 8 月 27 日～28 日
- 会場 道の駅よつくら港
- 参加人数 約 330 人
- 事業内容
道の駅よつくら港にて、サウンド・イルミネーションによるダンスイベントを行い、市民が集える復興事業を実施するもの。イルミネーションを灯す電力を廃油発電とすることで、市民が楽しみながらエコイベントに関心をもてる新たな市民交流の場を創出する。
- 事業成果
点灯式前にいわき市歌を流して 50 周年を祝いました。イルミネーションの光と音楽とダンスを融合させ、来場者もダンスに参加できる場を設け、光るペンダントを灯してもらうことで、市民参加型のイベントにしました。親子連れやカップル、友人同士など世代を問わずご来場いただき、プロジェクトへの寄付にも多くの方に御賛同をいただきました。



いわき市市制施行 50 周年記念 広報PR事業連携

- 主催 福島県いわき建設事務所
- 開催日 平成 28 年 5 月 11 日～平成 29 年 3 月 29 日
- 会場 いわき建設事務所及び管内事業箇所
- 参加人数 ー
- 事業内容
市制施行 50 周年記念の広報PR事業を、いわき建設事務所として支援すると共に、各工事現場におけるイメージアップとして取り組むもの。
事務所内や管内 8 箇所の工事現場、式典におけるのぼり旗の設置、公用車へのシンボルマークを印刷したマグネットの設置等を実施。
- 事業成果
工事現場等へののぼり旗を掲出し、工事現場のイメージアップと周年事業の周知を図ることができました。
また、のぼり旗を主催式典において掲出したほか、シンボルマークを使ったマグネットシートを所有する全公用車に貼付し広報PRを図りました。
このほか、毎月発行した「復旧・復興だより」等への掲出や職員のメール署名へのリンク先の明記など、県内外に広く周知を行いました。



未来へつなぐ光プロジェクト・冬季イルミネーション

- 主催 特定非営利活動法人
いわきイルミネーションプロジェクトチーム
- 開催日 平成 29 年 1 月 14 日～21 日(見込)
- 会場 21 世紀の森公園・集いの広場
- 参加人数 3,872 人
- 事業内容
市制施行 50 周年を迎える記念の年に、冬季イルミネーションイベント「未来へつなぐ光プロジェクト」を開催し、いわき市の冬の風物詩の第一歩とするもの。
- 事業成果
点灯式前にいわき市歌を流して 50 周年を祝いました。約 5 万球のイルミネーションを灯し、光と音楽を融合させてセラピー効果を高め、光のトンネルや撮影スポットの設置による光の一体感の演出、さらには太陽光発電でイルミネーションを灯すなど、市民が楽しみながら再生可能エネルギーに関心が持てる新たな市民交流の場を創出しました。世代を問わず幅広い年齢層に御来場いただき、プロジェクトへの寄付にも多くの方に御賛同をいただきました。



福島復興祈念 キャサリン・ジェンキンス チャリティーコンサート ～いわき市市制施行 50 周年記念～

- 主催 株式会社日立システムズパワーサービス
- 開催日 平成 28 年 8 月 28 日
- 会場 いわき芸術文化交流館 大ホール
- 参加人数 約 1,700 人
- 事業内容
東日本大震災への復興支援の取り組みとして、いわき市にて復興祈念チャリティーコンサートを開催するもの。
音楽を通じて文化面からの復興を支援するため、メゾプラノ歌手キャサリン・ジェンキンスによるチャリティーコンサートを開催。
- 事業成果
満員の聴衆の中、福島県合唱連盟いわき支部との共演なども行いながら、福島復興を祈念したコンサートを開催することができました。



いわき市市制施行 50 周年記念歴史講演会 「江戸時代のいわきを考える～漂流・境界・城郭～」

- 主催 いわき歴史文化研究会
- 開催日 平成 28 年 11 月 26 日
- 会場 いわき市文化センター
- 参加人数 80 人
- 事業内容
いわき市歴史文化研究会会員の普段の研究成果の発表の場とするとともに、いわきの知られざる歴史を広く市民に周知を図るもの。
江戸時代のいわきについて「中世から近世への移行」「江戸との関係性」「東南アジアとの関係性」の視点から明らかにしていく歴史講演会を開催。
- 事業成果
当日は、多くの市民の皆様にお集まりいただき、質問も相次ぐなど、普段の研究を市民に還元する場となりました。
今後、いわきの歴史に興味を持ち、文化財を大事に継承してくれる若い人々へ向けてのアプローチを行政と一緒に続けていきたいと感じました。



アートミーティング 田人の森に遊ぶ
2016

- 主催 田人地域振興協議会
- 開催日 平成 28 年 7 月 30 日～8 月 20 日
- 会場 田人町内一円
- 参加人数 約 1,200 人
- 事業内容
現代アートを基点とした地域振興及び子ども育成事業を開催するもの。
野外美術展覧会、ワークショップ（体験講習会）、美術系大学学生サミット、田人小中学校ふれあいキャンプ協力、町内スタンプラリー、ツアーバス等を実施。
- 事業成果
約 60 組、国内外の現代美術作家による回遊型野外美術展覧会を開催しました。また、若い美術家を育成する機会として、各美術系大学の学生などの力強い可能性のある作品の展示が実現でき、併せて、大学の指導者によるトークセッションを開催するなど、今後のアートミーティング活動の方向性を定める有意義なものとなりました。



第 21 回四時ダムまつり

- 主催 四時川流域ダムまつり実行委員会
- 開催日 平成 28 年 7 月 31 日
- 会場 四時ダム構内
- 参加人数 約 2,500 人
- 事業内容
「森と湖に親しむ旬間」（7 月 21 日から 31 日）の期間内に、「四時ダムまつり」を開催することで、国民に森や湖に親しむ機会を提供し、森林やダム、河川等の重要性について、国民の関心を高め、理解を深めるとともに、地域振興に寄与するもの。
園児、児童、生徒によるステージショーやバンド演奏のほか、飲食店やフリーマーケットの出店等を実施。また、「森と湖に親しむ旬間」期間中は、児童、生徒のダムに係わる作品やダムについての紹介などを展示。
- 事業成果
四時ダムまつりでは、市内の団体による各種イベントや、フリーマーケット、地場製品の販売、地元企業の PR 等を実施し、ダムへの関心や地域振興について広く市民の理解を得ることができました。
森と湖に親しむ旬間は、地元小・中学校の作品の展示や森林・水道に関するパネル展示を行い、森林やダムの重要性について市民の理解を深める機会となりました。



章太郎の会

- 主催 若柳流同志会・若太会
- 開催日 平成 28 年 9 月 25 日
- 会場 いわき市文化センター 大ホール
- 参加人数 演者 15 人、観客約 400 人
- 事業内容
古典舞踊を通じて、いわき市の芸術文化向上への貢献を図るもの。日本舞踊の発表を実施。
- 事業成果
いわき市市制施行 50 周年の節目に当たり多くのいわき市民に御来場いただき、古典舞踊を通じて、市の芸術文化の向上に貢献できたと感じております。



撮影：いわき民報社

Smile, smile&smile！みんなで一緒に輝こう！～僕たち・私たちのこころの響き・こころのリズムを聞いて下さい～

- 主催 Gallery あきもと まさあき
- 開催日 平成 28 年 9 月 17 日～11 月 20 日
- 会場 アクアマリンふくしま
- 参加人数 約 6,000 人
- 事業内容
知的障がい等のハンディキャップを持った人達について広く知って頂くことを目的とするもの。
ハンディキャップを持った方々の描いた絵をユニークな展示で大勢の方々にお伝えする。
- 事業成果
ハンディキャップを持った方々を広く知っていたくことと、そうした方々が持っている才能や可能性を見ていただく事を目的として絵画展を企画いたしました。
会場がアクアマリンふくしまであったという点や来場して頂いた子ども達に大きなぬり絵に参加してもらうなど、趣向をこらした内容で開催したため、考えていた以上の成果・反響がありました。



いわき市内の子供たちへの感謝
いわき市市制施行 50 周年記念特別プラン

- 主催 常磐興産株式会社
- 開催日 平成 28 年 7 月 1 日～8 月 31 日
- 会場 スパリゾートハワイアンズ
- 参加人数 約 1,500 人
- 事業内容
いわき市内の子供達が夢と希望を持てるよう夏休みの思い出作りに協力するもの。
市制施行 50 周年の記念特別プランとして子供会料金の 500 円引きを実施。
（大人 2,060 円→1,560 円、小人 1,300 円→800 円、幼児 830 円→330 円）

木村百合子&マチュー・ロフェ
コンサート

- 主催 久之浜・大久地域づくり協議会
- 開催日 平成 28 年 7 月 24 日
- 会場 地域防災交流センター
久之浜・大久ふれあい館 講堂
- 参加人数 約 170 人
- 事業内容
国内外において優れた業績を有するアーティストを招聘し、地域住民に質の高い音楽に接する機会を提供するもの。
- 事業成果
地元出身のフルート奏者であり、国内外で高い評価を得ているアーティストでもある木村百合子氏を地域防災交流センター久之浜・大久ふれあい館に招聘し、ヨーロッパジャズの楽曲を中心としたコンサートを開催しました。
質の高い音楽文化を地域の身近な場所で体験できる機会を創出し、かつ、地元住民との交流を交えながら、地元出身アーティストの活躍をより広く紹介し、応援する機会となりました。



第 23 回いわき計測展

- 主催 いわき計測展実行委員会
- 開催日 平成 28 年 11 月 16 日～11 月 17 日
- 会場 いわき産業創造館 (ラトプ 6 階)
- 参加人数 545 人
- 事業内容
市民の計量に関する意識の向上と市内事業所の計量管理向上に役立てるため、最新の計測システムや計測機器の展示、セミナー等を実施するもの。
- 事業成果
最新の計測システムの展示や企業・製品の PR のほか、小学生を対象とした出前教室等も開催し、計量に関する意識の向上に役立てることができました。



勿来と双葉の共生コミュニティデザイン事業

- 主催 勿来ひと・まち未来会議
- 開催日 平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 1 月 22 日
- 会場 勿来地区、吹風殿 (交流会)
- 参加人数 約 100 人
- 事業内容
勿来をテーマにした「地域かるた」を作成し、学校や家庭で活用することで、地域間交流や世代間交流に寄与することを目的とするもの。また、双葉郡からの避難者と地域住民によるカルタ大会とコンサートを開催し、住民同士の交流を深める。
勿来地区の自然、景勝地、歴史、文化、特産品などをテーマにした「地域かるた」を作成。カルタは勿来地区の小・中学生及び地域住民から広く募集する。また、1 月下旬から 2 月上旬にカルタ大会とコンサートによる住民交流会を開催。
- 事業成果
小・中学生の夏休みの自由課題や一般公募で読み札を募集し「地域かるた」を制作、勿来地区住民と双葉町民による「勿来&双葉かるた交流会」を開催しました。
地域間交流とともに世代間交流も深めることができ、所期の目的を十分に達成することができました。



内郷・湯本線 (仮称) 堀坂トンネル新設工事

- 主催 内郷・湯本 (仮称) 堀坂トンネル新設工事 大豊・常磐開発・渡辺組特定建設工事企業体
- 開催日 いわき市内郷綴町堀坂地内
- 会場 平成 28 年 6 月 26 日～平成 29 年 3 月 27 日
- 参加人数 —
- 事業内容
内郷・湯本線 (仮称) 堀坂トンネル新設工事現場の仮囲いにシンボルマークの看板を掲示し、記念事業を盛り上げ、また、堀坂トンネルのイメージアップを図るもの。
- 事業成果
シンボルマークを起点側と終点側の防音壁にそれぞれ貼付し、多くの通行者や近隣住民の方々に市制施行 50 周年を認識していただき、機運の醸成に繋がったものと認識しています。
また、工事の安全施工に努めることに繋がる安らぎのマークとなりました。



第 37 回全日本クラブ女子ソフトボール選手権大会

- 主催 いわき市ソフトボール協会
- 開催日 平成 28 年 7 月 23 日～25 日
- 会場 いわき新舞子多目的運動場
- 参加人数 約 700 人
- 事業内容
女子ソフトボールの全国大会を開催し、ソフトボールの普及発展を図り、またスポーツを楽しむもの。
- 事業成果
天候に恵まれ 3 日間何事もなく、高校生補助員も含め延べ 120 人の手伝いを受け、24 チームの熱戦が繰り広げられました。関係者の方々には感謝を申し上げます。



日本製紙株式会社 勿来工場 いわき市市制施行 50 周年記念名刺作成事業

- 主催 日本製紙株式会社 勿来工場
- 開催日 平成 28 年 8 月～平成 29 年 3 月
- 会場 —
- 参加人数 —
- 事業内容
市制施行 50 周年を PR するため、名刺にシンボルマークを刷り込むもの。
- 事業成果
工場長等、社員の名刺に使用し、来場されたお客様や顧客訪問時に活用することで、市制施行 50 周年を宣伝することができました。



いわきドリームチャレンジ 2016

- 主催 一般社団法人日本スポーツ振興会
- 開催日 平成 28 年 8 月 14 日～21 日
- 会場 21 世紀の森公園
- 参加人数 総勢 約 2,700 人
- 事業内容
市全体でスポーツを基軸とした「祭り」を創造し、「いわき市の復興から成長」に貢献するもの。
いわき F C 対 F C 東京のチャリテーマッチをはじめ、高校世代のサッカー大会、硬式野球の小学生全国大会、いわきドリームチャレンジ (記録挑戦型アトラクション)、ステージイベント、ライブ、花火、飲食物販等を開催。
- 事業成果
参加型スポーツ競技会では老若男女問わず参加していただき、大きな事故もなく終えることができました。その後のライブや花火大会も盛り上がりを感じました。いわき F0 と F0 東京のチャリテーマッチも告知期間が短期中、まずまずの動員数を得られ、チャレンジカップでは天候の影響で初日に到着できないチームがある中、全行程を行うことができ、いわき F0 と選抜チームの対決は大いに盛り上がりました。全国小学生硬式野球大会は天候に恵まれず、試合は全行程行うことができました。



第24回常磐地区高齢者スポーツ大会

- 主催 いわき市社会福祉協議会常磐地区協議会
- 開催日 平成28年9月24日
- 会場 関船体育館
- 参加人数 225人
- 事業内容
高齢者がスポーツを通じて、健康の増進や相互の親睦を深め、併せて、ボランティアとして高校生や中学生が参加することで、世代間交流を図るもの。
競技種目：ケツ圧測定、豚追い競争、ボーリング大会、よちよちペンギン、宝さがし 外
アトラクション：高校生によるフラダンス 外
- 事業成果
参加者が減少傾向にありましたが、市制施行50周年記念事業として実施することで、参加者が増え、運営ボランティアとして参加した高校生や中学生と交流を図りながら、事業を盛り上げて行うことができました。



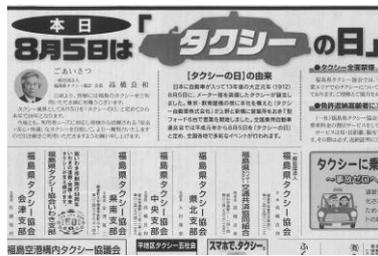
平飲食店ガイドマップ「うまっぷ」作成事業

- 主催 平飲食業会
- 開催日 通年
- 会場 JRいわき駅周辺 外
- 参加人数 ー
- 事業内容
平地区の飲食店を紹介する、ガイドマップ「うまっぷ」を作成・配布することを通じて、街を利用する住民・来街者に安心・安全な飲食店をPRし、街の活性化に繋げるもの。
- 事業成果
平中心市街地の利用者に、安心・安全な飲食店のPRができました。
また、いわき駅周辺のホテル、タクシー会社やラトブ、市役所等の公共施設との連携を取るきっかけとなったほか、いわき芸術文化交流館との連携によるイベントを実施することができました。



タクシーの日PR広告

- 主催 いわき市タクシー事業協同組合
- 開催日 平成28年8月5日
- 会場 福島民友新聞
- 参加人数 ー
- 事業内容
いわき市と共に歩んできたタクシーの役割を市民にPRするもの。
8月5日の「タクシーの日」特集記事（福島民友新聞）に協賛広告を掲載するに当たり、シンボルマークを使用。
- 事業成果
本年度は、いわき市市制施行50周年ということで市と共に歩んできたタクシーの役割をPRしたく、シンボルマークを使用させていただきました。
読者の皆様には「市」の半世紀の歴史と未来、そして市民の足として発展し続けるタクシーの大切さを改めて認識していただけたのではないかと思います。



ニュースポーツフェスタ2016

- 主催 いわき市レクリエーション協会
- 開催日 平成28年11月8日
- 会場 上荒川公園
- 参加人数 約100人
- 事業内容
広く市民にスポーツレクリエーションを普及し、健康で明るく潤いのある生活の実現に資することを目的に実施するもの。
各種ニュースポーツの体験会を実施（ラージボール卓球、パウンドテニス、健康太極拳、3B体操、スポーツ吹矢、ターゲットバードゴルフ、グラウンドゴルフ、パークゴルフ、ペタンク 計9種目）
- 事業成果
参加された方々からは、様々な種目を体験することができたと喜ばれました。今回は、平日の開催でしたが、参加者の増加を図るため、今後は日曜日に開催するなどの検討を行って参ります。



2017ミス・ユニバース・ジャパン福島大会

- 主催 スカイネット・インターナショナル株式会社
- 開催日 平成28年9月1日
- 会場 スパリゾートハワイアンズ
- 参加人数 約300人
- 事業内容
ミス・ユニバース・ジャパン福島大会の認知度を高め、更なる福島へのチャリティー活動を行うもの。2017ミス・ユニバースジャパン福島大会を開催し、福島代表の選出を実施。
- 事業成果
大会にて15名のファイナリストをプロデュースし、福島県から世界の舞台を目指し、より明るく元気な福島県になるよう復興応援をいたしました。
今回、メディアでも多く取り上げていただき、発信力のある大会とすることができました。



記念nanacoカードの制作

- 主催 イトーヨーカドー平店
- 開催日 平成28年10月1日～平成29年3月31日
- 会場 (株)イトーヨーカ堂平店
- 参加人数 ー
- 事業内容
いわき市市制施行50周年を多くの方に周知するため、電子マネーnanacoの記念カードを制作するもの。
イトーヨーカ堂平店にて、1,000枚限定で販売。デザインはフラおじさん、ふらっぺ、50周年シンボルマークを起用して制作。
- 事業成果
nanacoの記念カードを1,000枚製作し、980枚を販売することができました。



小林研一郎記念コンサート
日本フィルハーモニー交響楽団演奏会

- 主催 小林研一郎記念コンサート実行委員会
- 開催日 平成29年3月18日
- 会場 いわき芸術文化交流館 大ホール
- 参加人数 1,293人
- 事業内容
本市出身の世界的指揮者小林研一郎氏が、桂冠名誉指揮者を務める日本フィルハーモニー交響楽団を率い、コンサートを開催するもの。

指揮：小林研一郎、
ピアノ：小林亜矢乃、
管弦楽：日本フィルハーモニー交響楽団
演奏曲目
ブラームス／ハンガリー舞曲 第1、第6、第5番
チャイコフスキー／ピアノ協奏曲 第1番
ドヴォルジャーク／交響曲第9番「新世界より」

■事業成果
いわき市市制施行50周年の節目の年に、本市出身の世界的指揮者である小林研一郎氏の指揮により、日本フィルハーモニー交響楽団の演奏会を開催しました。

また、演奏会本編終了後に市長から「市制施行50周年記念特別表彰」の贈呈と小林研一郎氏本人が作曲した「いわき市歌」の演奏（来場者との演奏）もあり、市制50周年記念にふさわしい祝祭感あふれる演奏会となりました。



市制施行50周年記念特別表彰の贈呈

市制施行50周年企画広告

- 主催 株式会社 いわき民報社
- 開催日 平成28年9月30日
- 会場 夕刊いわき民報紙面
- 参加人数 ー
- 事業内容
市制施行50周年を讀者にPRするため、市制施行50周年の記事を掲載するもの。
- 事業成果
いわき民報紙面で全9ページにわたりいわき市市制施行50周年を記念する企画広告を展開しました。



復興・久之浜漁港まつり

- 主催 復興・久之浜漁港まつり実行委員会
- 開催日 平成28年10月16日
- 会場 久之浜漁港及び漁港前広場
- 参加人数 約7,000人
- 事業内容
基幹産業である漁業の復活と地場産品の風評払拭のため、震災以降中断している漁港まつりを再開し、海と山・生産者と消費者の交流を促進し、農林水産業の振興と地域の活性化を図るもの。
- 体験乗船・地場産品の風評被害払拭のための展示販売（魚介類・いわき産水産加工品販売、チャンチャン焼き、復興鍋市場外）・石川町との地域間交流・歌と踊りのステージ・大抽選会等を実施。
- 事業成果
復興が進む久之浜漁港の現状や検査により安全を確認した新鮮な魚介類、水産物の完全復興を目指す水産関係者の姿などをPRすることにより、まちと漁港に活気を取り戻す端緒になりました。



登柳会 舞踊公演

- 主催 登柳会
- 開催日 平成28年11月27日
- 会場 いわき芸術文化交流館
- 参加人数 約1,000人
- 事業内容
日本舞踊の公演を行い、次世代に向けて日本の伝統の価値を伝えていくことを目的とするもの。
- 事業成果
この度の公演では、実際に歌舞伎座で使用されている邦楽器を、開場時のロビーで入場者に体験して頂き、また、舞台上でも実際に歌舞伎座で演じている演奏家を招き、共演という形でいわき市民による歌舞伎舞踊の上演が叶いました。
- 東日本国際大学附属昌平高等学校の学生も衣装かつらの着用や歌舞伎化粧を行ったほか、舞台装置設営の様子や開幕に至るまでの舞台裏を実体験することができました。
- 総合芸術である歌舞伎の世界を客席からも舞台上からも肌で感じて頂き、古典芸能を堪能していただきました。



窓口ロビー展

- 主催 小川郵便局
- 開催日 平成28年10月3日～平成29年3月31日
- 会場 小川郵便局窓口ロビー
- 参加人数 約300人
- 事業内容
郵便局の窓口ロビーに、小川町の昔の様子等の写真を展示するなどし、地域振興を図るもの。
- 昔の小川・今の小川展、教訓色紙展、貯金箱コンクール、写真展（小川地区の風景）、昭和のなつかしいおもちゃ展等を実施。
- 事業成果
この50年に、どのように小川が変わったか、今後の小川町の姿はどうあるべきかを対比の写真を見て、考える良い機会となりました。



撮影：いわき民報社

月間カレンダー配布

- 主催 株式会社ネクスト情報はましん
- 開催日 平成28年10月1日～平成29年3月31日
- 会場 ー
- 参加人数 ー
- 事業内容
市制施行50周年記念の広報活動として、㈱ネクスト情報はましんで毎月配布しているカレンダーのタイトル部分に「いわき市市制施行50周年」のロゴと文言を挿入するもの。
- 事業成果
「いわき市市制施行50周年」のロゴと文言を挿入したカレンダーを毎月配布し、掲示していただくことで、市制施行50周年の周知に貢献できたものと思えます。



第5回いわき光のさくらまつり

- 主催 公益社団法人いわき青年会議所
- 開催日 平成28年12月3日～平成29年1月9日
- 会場 いわき駅前大通り周辺
- 参加人数 約50,000人(推計)
- 事業内容
浜通りのシンボルである夜ノ森の桜並木を回帰し、思いを馳せ、震災前のふるさとを共有するとともに、いわき市民と双葉郡から避難されている方々が、共に浜通りの復興を願う機会とするもの。
「夜ノ森さくら並木」をモチーフにしたイルミネーションをいわき駅前大通りに設置。さくら色を中心とした2色のLED電球で装飾し、双葉郡富岡町夜ノ森にある桜並木を再現。
- 事業成果
さくら色を中心とした2色のLED電球約200,000球で装飾し、夜ノ森の桜並木を再現し、また3回に渡り実施したワークショップでの成果品を使ったオブジェをラトプ2階のデッキ部分に設置しました。
アンケート回答者の80%の方が、いわき光のさくらまつりの桜の所以を理解しており、開催の趣旨が広まっているものと推測します。



大久区第二回秋祭り

- 主催 大久区第二回秋祭り実行委員会
- 開催日 平成28年11月6日
- 会場 大久区公民館
- 参加人数 約180人
- 事業内容
大久区民の相互理解と「助け合い・支え合い」の醸成をはかり、地区のコミュニティづくりの場を提供するもの。
地域の歴史や伝統を大切に受け継ぎ、多くの子ども、年配者まで楽しんでもらえる秋祭りを開催。
- 事業成果
天候に恵まれ朝から多くの皆様にお越しいただき、大変活気のあるお祭りとなりました。
地元大久の3B体操は地域の皆様も一緒に参加し、昨年よりも地域に密着したものとなりました。
高校生によるフラダンスはハツツとした演技を堪能することができました。花音の女性歌手の登場は大久区で初めてのことでしたので新鮮な雰囲気も漂っていましたし、よさこい海神乱舞は激しく躍動的で心が洗われました。みつもり太鼓は小さな子どもさんの活躍もあり大いに盛り上がりました。
今後も地域住民のふれあいや助け合いの場として親しまれるように継続していきたいと考えております。



石井ふく子名作劇場「君はどこにいるの」

- 主催 石井ふく子名作劇場いわき公演・実行委員会
- 開催日 平成29年3月15日
- 会場 いわき芸術文化交流館 大ホール
- 参加人数 1,563人
- 事業内容
震災からの復興支援として、いわき市民に気軽に観劇を楽しんでもらい、文化の高揚を図るもの。
いわき応援大使の石井ふく子氏が演出した名作劇場を上演し、気軽に観劇を楽しんでもらう。
- 事業成果
これからの本格的な復興に向けては、心を豊かにする文化の力が必要であることから、いわき応援大使である石井ふく子氏が演出を手掛けた舞台をいわきで開催しました。
観客は女性が多く、今の時代にあらためて家族について問いかける内容で、共感と共に素晴らしい舞台でたと感動してお帰りいただくことができました。



アースデイいわき 2017 in 小牧山

- 主催 アースデイいわき実行委員会
- 開催日 平成29年3月11日～12日
- 会場 小牧山・史跡公園(愛知県小牧市)
- 参加人数 約4,000人
- 事業内容
東日本大震災により、愛知県に避難した人々を応援し、また、福島と愛知を繋ぐ橋渡しのため、様々な催しを行うもの。
トーク・ライブステージのほか、東北の食と物産展や、東北支援・被災地支援活動団体によるワークショップ、自然エネルギー青空教室、インディアンテント「ティビー」と大風呂敷の展示等を実施。
- 事業成果
来場者やイベントに関わった方々から来年も実施してほしいとの意見を多数いただき、後援いただいた小牧市にも内容を好意的に評価していただくことができました。



市章



いわき市の頭文字「い」を図案化したもので、本市の発展と融和団結、円満、平和を表徴しています。

当地方は古来から石城・岩城・磐城と称し、文字こそ違え、すべて「いわき」と読み、歴史的に親しみの深い読み方です。仮名書きは、その読み方の混乱を避けるため、聖徳太子17条憲法における「和を以て貴しとなす（以和貴）」を音読みすれば「いわき」となります。

(昭和42年10月1日制定)

いわき市民憲章

日本一広い面積をもち、気候が温暖で、豊かな自然といで湯にめぐまれたいわき市は、首都圏にも近く、国際港をもつ近代都市として、躍進をつづける、若さにあふれたまちであります。

わたくしたちは、貴重な先人の遺産を受けつぎ、いわき市民としての自覚と誇りをもって、調和のとれたまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。

わたくしたちいわき市民は、

- 1 元気で働き、豊かなまちをつくりましょう。
- 1 互いに助け合い、明るいまちをつくりましょう。
- 1 きまりを守り、住みよいまちをつくりましょう。
- 1 教養を高め、文化のまちをつくりましょう。
- 1 自然を愛し、緑のまちをつくりましょう。

(昭和51年10月1日制定)

※ 静岡県静岡市と清水市の合併により「静岡市」が誕生したことに伴い、平成15年4月1日から本市は「日本一広い」市ではなくなりました。

いわき市歌

作詞/乗田 まさみ 補作/草野 心平
作曲/小林 研一郎 補作編曲/渡辺 浦人

- 1 若いまち いわき
伸びてゆく いわき
さわやかな 海の夜あけに
夢をはらんで 満ちてくる潮しお
あふれるのぞみ いわき
あふれるのぞみ いわき
みんなで呼ぼう
しあわ幸せをここに
- 2 若いまち いわき
花ひらく いわき
街ごとに 光はあふれ
炭鉱やまに工場こうばに こだまする歌
ほほえむみのり いわき
ほほえむみのり いわき
みんなで呼ぼう
しあわ幸せをここに
- 3 若いまち いわき
栄えゆく いわき
湯のさとに けむりたなびき
七浜ななはまの波 さわぐ松風まつかぜ
ゆたかなながめ いわき
ゆたかなながめ いわき
みんなで呼ぼう
しあわ幸せをここに

平成 29 年 5 月 発行

編 集 いわき市総務部総務課

発 行 いわき市

〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地

TEL 0246-22-1111 (代)

URL <http://www.city.iwaki.lg.jp/>
